

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語 I A1	単位数：1
担当教員名：加藤 聡	
対象学生：大文 1	
副題 基礎 1	
<b>授業の到達目標</b> 中国語文法の基礎を理解します。中国語文法の基礎は、3 セメスター（二回生前期までの1年半）にわたって学習します。従って、本学第1セメスターでは中国語文法の入門部分を学習することになります。 まずは?音(ピンイン)を正しく発音し、簡体字による正書法を習得して、簡単な主述構造の中国語を理解できるようになりましょう。	
<b>授業の概要</b> 中国語の文法は語順がいのちです。従って皆さんは、なによりも中国語自体のことばの並び方を、繰り返し、また意識的に注視することが肝心になります。 また、文法の理解には、発音の習得が大きな意味をもっています。従って、発音も重視します。 この学期は、3種類の述語文のかたち、その否定のかたち、2種類の疑問文のかたち、および名詞句のつくり方などが、最重要の学習課題となり、あわせて簡単なあいさつことば、数の数え方なども学びます。	
<b>授業計画</b> 1. ガイダンス、中国および中国語について 2. ピンインと簡体字、声調について 3. 人称代名詞・是を用いた名詞述語文 4. 構造助詞「的」1・教室用語 1 5. 形容詞述語文 6. 主述述語文・「的」の省略・あいさつことば 1 7. 動詞述語文 8. 副詞「也」の用法・あいさつことば 2 9. 量詞 10. 提案・勧誘の語気助詞「?」 11. お金の単位・数の数え方・教室用語 2 12. 所有の「有」 13. 構造助詞「的」 2 14. 強調・教室用語 3 15. まとめ	
<b>授業時間外の学習について</b> 平常点が成績評価の大きなウエイトを占めているのは、語学は日々の積み重ねが大事だからです。よって予習と復習をしっかりとしてください。またこの教科書は辞書をしっかりと引いてもらうように作られていますので辞書は必ず手元に置いておいてください。	
<b>学生へのメッセージ</b> <履修上の注意> 語学は継続と繰り返しが大事です。欠席しないようにしましょう。  <自主学习> 学内 WEB に置かれている練習問題は、自宅からもアクセス可能です。大いに活用しましょう。	
<b>教科書</b> 『イーリス中国語—京女生のための中国語（文法篇）—』（KWUC）、2018年	
<b>参考書</b> 辞書（中日辞典か中国語辞典）が必要です。授業中に適宜紹介します。	
<b>評価方法</b> まとめ 60 基礎的な文法の理解（期末試験による） 平常点 40 小テスト、課題、授業に対する積極的な姿勢	
<b>京女 AL アクティブ・ラーニング区分</b> 振り返り（小テスト）、授業時間外学習（e-ラーニング）	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語ⅠA2	単位数：1
担当教員名：劉小俊	
対象学生：大文1	
副題 実習1	
<p><b>授業の到達目標</b>  「読む」「書く」「聞く」「話す」の四つの要素のうち、「聞く」「話す」に重点を置き、その入門として、まず発音の基礎の習得をめざします。中国語は一字一音節であり、その音節には約400の種類があります。更に各音節に四種類の声調（抑揚）があり、この音節と声調をあわせてはじめてその文字の発音となります。  今学期では、まず音節の発音と表記法の基本を学び、次にサブテキストを用いて、場面を京女大の学生生活に想定した簡単な会話を学びながら中国語の音に親しんでもらいます。</p>	
<p><b>授業の概要</b>  まず『京女生のための中国語（発音篇）』を使用して、音節の発音と表記法の基本を学びます。次にサブテキストを用いて、簡単な会話を学びながら、発音の練習をします。二種のテキストにはそれぞれCDが付いているので、課外学習に活用してください。授業では、繰り返し練習、書き取り、暗誦などの方法で中国語の発音をしっかりと勉強します。また、サブテキストで使用する単語は中国の国家が行う検定試験である漢語水平考試（HSK）の甲級詞（使用頻度の最も高い単語）を用いているので、しっかりとマスターしてください。</p>	
<p><b>授業計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ピンイン1</li> <li>2. ピンイン2</li> <li>3. ピンイン3</li> <li>4. ピンイン4</li> <li>5. ピンイン5</li> <li>6. サブテキスト第1課</li> <li>7. サブテキスト第2課</li> <li>8. サブテキスト第2課</li> <li>9. サブテキスト第3課</li> <li>10. サブテキスト第3課</li> <li>11. サブテキスト第4課</li> <li>12. サブテキスト第4課</li> <li>13. サブテキスト第5課</li> <li>14. サブテキスト第5課</li> <li>15. まとめ</li> </ol> <p>* おおむね毎2回の講義で、サブテキスト1課分を学びます。加えて基礎クラス（中国語ⅠA1）用テキスト『イーリス中国語』の単語の発音練習をします。</p>	
<p><b>授業時間外の学習について</b>  毎週1時間の予習と復習が必要です。</p>	
<p><b>学生へのメッセージ</b>  &lt;履修上の注意&gt;  語学は継続と繰り返しが大事です。これは言わずもがなのことですが、欠席しないようにしてください。  &lt;自主学習&gt;  CDを繰り返し聞いて、練習してください。</p>	
<p><b>教科書</b>  『京女生のための中国語（発音篇）』及びサブテキスト（KWUC）、2018年増訂版</p>	
<p><b>参考書</b>  講義の時、適宜紹介します。</p>	
<p><b>評価方法</b>  まとめ40音節の正確な発音と聞き取り  平常点50書き取りの小テストなど。暗誦101課分の暗誦</p>	
<p><b>京女ALアクティブ・ラーニング区分</b>  対話型授業、授業時間外学習、グループ学習。</p>	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語 I B1	単位数：1
担当教員名：加藤聡	
対象学生：大文1	
副題 基礎2	
<b>授業の到達目標</b> 前セメスターに引き続き、中国語文法の基礎の理解につとめます。3セメスター(二回生前期までの1年半)にわたる基礎文法習得の、中間のセメスターになります。	
<b>授業の概要</b> 中国語の基本的な構造、すなわち3種類の述語文のかたち、および修飾のしかたなどを理解し修得した上で、この学期では更に3種類の疑問文、助動詞、語気助詞、動態助詞などを学びます。 語順を意識的に注視することは、相変わらず学習の基本姿勢でなければなりません。繰り返し発音して、適当な例文を数多く暗唱することも、また同時にすべきことです。中国語の文をリズムよく発音することは、実は、中国語の文法の理解とも深く関わっています。	
<b>授業計画</b> 1. 場所詞・方位詞 2. 存在の「有」 3. 存在の「在」・あいさつことば3 4. 反復疑問文 5. 省略疑問文 6. 列挙の「和」・あいさつことば4 7. 指示代名詞 8. 助動詞 9. 選択疑問文・あいさつことば5 10. 時間詞 11. 時点と時間 12. 動態助詞の「了」と語気助詞の「了」 13. 複文(因果関係) 14. 「有点儿」と「一点儿」 15. まとめ	
<b>授業時間外の学習について</b> 平常点が成績評価の大きなウェイトを占めているのは、語学は日々の積み重ねが大事だからです。よって予習と復習をしっかりとしてください。またこの教科書は辞書をしっかりと引いてもらうように作られていますので辞書は必ず手元に置いておくこと。	
<b>学生へのメッセージ</b> <b>&lt;履修上の注意&gt;</b> 語学は繰り返しと継続が大事です。欠席しないようにしましょう。	
<b>&lt;自主学習&gt;</b> 学内 WEB に置かれている練習問題は、自宅からもアクセス可能です。大いに活用しましょう。	
<b>教科書</b> 『イーリス中国語—京女生のための中国語(文法篇)—』(KWUC)、2018年	
<b>参考書</b> 辞書(中日辞典か中国語辞典)が必要です。その他については授業中に適宜紹介します。	
<b>評価方法</b> まとめ60 基礎的な文法の理解(期末試験による) 平常点40 小テスト、課題、授業に対する積極的な姿勢	
<b>京女ALアクティブ・ラーニング区分</b> 振り返り(小テスト)、授業時間外学習(e-ラーニング)	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語 I B2	単位数：1
担当教員名：劉小俊	
対象学生：大文1	
副題 実習 2	
<b>授業の到達目標</b> 前期で習得した約400の音節と4つの声調を復習して、その精度を高めるとともに、引き続き、サブテキストを使用して、やや長い会話文を学びます。併せて HSK（中国の国家が行う検定試験）の中級詞（最も使用頻度の高い単語）をできるだけ多く覚えることを目標とします。また中国語の文をリズムよく発音することは、中国語の文法の理解とも深く関わることからであるので、これにも留意します。	
<b>授業の概要</b> サブテキストを使用し、やや長い会話文を学びます。	
<b>授業計画</b> 1. サブテキスト第6課 2. 3. サブテキスト第7課 4. 5. サブテキスト第8課 6. 7. サブテキスト第9課 8. 9. サブテキスト第10課 10. 11. サブテキスト第11課 12. 13. サブテキスト第12課 14. 15. まとめ * 毎2回の講義でサブテキスト1課分を学ぶ。加えて基礎クラス（中国語 I B1）用テキスト『イーリス中国語』の単語の発音練習をします。	
<b>授業時間外の学習について</b> 毎週1時間予習復習する必要があります。	
<b>学生へのメッセージ</b> <履修上の注意> 語学は継続と繰り返しが大事です。欠席しないようにしてください。 <自主学習> CDを繰り返し聞いて、練習してください。	
<b>教科書</b> 『京女生のための中国語（発音篇）』及びサブテキスト（KWUC）、2018年増訂版	
<b>参考書</b> 講義の時、適宜紹介します。	
<b>評価方法</b> まとめ30文章の正確な発音と聞き取り。 平常点40聞き取りなどの小テスト。暗誦303課分の暗誦	
<b>京女 AL アクティブ・ラーニング区分</b> 対話型授業、授業時間外学習、グループ学習。	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語ⅡA1	単位数：
担当教員名：加藤 聡	
対象学生：大学2	
副題 基礎3	
<b>授業の到達目標</b> 一回生にひき続き、基礎文法を仕上げます。ここまで勉強すれば、文法の基本的なものに関してはほぼ学習したことになります。自分の言いたいことは、辞書を引きながらでも、大体言ったり書いたりでき、中国語検定では4級受験に相応しいレベルです。	
<b>授業の概要</b> 中国語の文法の基本は語順、つまり言葉の並べ方で、それはとても単純な骨格をしています。これについては、一回生の時に学びました。この授業では、もう少し複雑な、さまざまな表現を学習します。すなわち連動文、兼語文、存現文、経験、比較、進行、持続、受け身などの言い方、さらには程度補語、結果補語、可能補語、方向補語などです。 また基礎文法の学習を終えたら、ある程度まとまった文章を読みます。 中国語ⅡA2、ⅡA3と関連しています。	
<b>授業計画</b> 1. 助動詞「会」「能」「可以」・介詞と介詞構造 2. 二重目的語 3. 連動文・兼語文・動詞の重ね型 4. 「是～的」・経験・比較 5. 進行・持続・「～地」 6. 介詞・離合動詞 7. 程度補語・補足的説明 8. 処置式・結果補語・可能補語 9. 受け身・存現文・方向補語 10. 「快要～了」「越～越～」・疑問詞の不定用法 11. 「有的～有的～」・「不但～而且～」 12. 応用 1 13. 応用 2 14. 応用 3 15. まとめ	
<b>授業時間外の学習について</b> 予習では、しっかりと辞書をひき、最低限、新出の単語の意味と、新出の文法事項の確認をします。 復習では、短時間でも繰り返しするのが効果的です。文の構造を特に意識しましょう。また、単語にせよ文にせよ、必ず自分のイメージにうたえて記憶するようにします。外国語の学習の要点は、「慣れ」です。 また、中国語検定やHSKなどの検定試験を受験することで、学習目標の達成度を測ることができます。	
<b>学生へのメッセージ</b> <b>&lt;履修上の注意&gt;</b> 二回生が中心のクラスですが、三回生以上の中国語既修者の受講も歓迎します。また、同時限開講クラスの履修登録者数に著しい偏りが生じた場合は、クラスを再編成することがあります。なお、三回生以上対象の中国語科目（アドヴァンスト・コース Level3）を履修するためには、本科目を含む Level2 科目を3つ以上履修しておく必要があります。	
<b>&lt;自主学習&gt;</b> 外国語の学習は、自主学習が欠かせません。授業の内容と関連して、色々自分のイメージをふくらませてください。疑問があれば、遠慮なく	
<b>教科書</b> 『イリス中国語—京女生のための中国語（文法篇）—』（KWUC）、2017年 応用では適宜プリントを使用する。	
<b>参考書</b> 講義のなかで適宜紹介します	
<b>評価方法</b> まとめ 70 基礎文法の全面的な理解 平常点 30 小テスト、課題、授業への積極的な姿勢	
京女 AL アクティブ・ラーニング区分 振り返り（小テスト）	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語ⅡA2	単位数：
担当教員名：劉小俊	
対象学生：大学2	
副題 表現A（「会話」聞き取り）	
授業の到達目標 この講義は一回生で学んだ文法的知識や発音の基礎をもとに、中国語会話での聞き取りに重点をおいて練習します。簡単な表現の会話については、抵抗無く、スムーズに聞き取ることができることを目標とします。	
授業の概要 耳に慣れてもらうために、まず挨拶から入ります。各課は一つのテーマにしぼり、常用表現を繰り返し聞かせるなか、「聞く」力が確実に付きます。また、聞き取り中心の授業とは言っても、「話す」ことを全くしないわけではありません。聞きとった中国語に対して思わず皆さんが話したくなるような、そのようなアクティブで楽しい学習雰囲気を作っていきます。また、毎回の授業の初めに10分から15分を利用して、中国語検定試験の過去問のリスニング問題をやります。	
授業計画 1. 挨拶 1 2. 挨拶 2 3. 教室用語 4. 数の表現 5. 数字と量詞 1 6. 数字と量詞 2 7. 金額と買い物 1 8. 金額と買い物 2 9. 両替 1 10. 両替 2 11. 時間 1 12. 時間 2 13. 場所と位置 1 14. 場所と位置 2 15. まとめ	
授業時間外の学習について 毎週1時間の予習復習が必要です。	
学生へのメッセージ ＜履修上の注意＞ 繰り返し聞かなければ、「聞く力」が付きません。 ＜自主学習＞ CDを活用して聞く力を高めましょう。	
教科書 中国語リスニング道場 朝日出版社 2015年	
参考書 授業で指示します。	
評価方法 まとめテスト60主として聞く力。 平常点40 授業での積極的な姿勢、小テストなど。	
京女ALアクティブ・ラーニング区分 振り返り、対話型授業、授業時間外学習、グループ学習。	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語ⅡA3	単位数：
担当教員名：加藤聡	
対象学生：大学2	
副題 実践	
<b>授業の到達目標</b> 中国語の検定試験のための訓練を積みます。検定試験には主なもので3種類があります。日本の中国語検定とTECC、それから中国のHSKです。この授業では、中国語検定4級の合格を目指します。基礎的な文法を学習し終えたレベルです。 中国語検定4級は、まじめに準備すれば合格できます。2回生の前期、基礎文法を修了しつつある時期に、1学期のあいだ集中力を高めて試験にぶつかってみましょう。近い将来に明確な目標を据えて勉強するのも、ひとつのトレーニング方法ですし、たとえ検定試験を受けなくても、一度自分の中国語理解を整理するのに効果があるでしょう。	
<b>授業の概要</b> 授業では、まず中国語検定4級に必要な未習の文法事項を習得し、同時に既習文法事項を、それらとの関連に注意しながら整理・確認します。 その後は受講者の希望にしたがって、苦手分野克服のためのトレーニングを、過去問および練習問題をもちいて行います。 受講者は「中検過去問 web」への登録をしてください（登録方法は開講後別途指示） 中国語ⅡA1、ⅡA2が関連します。この2科目、特にⅡA1の併修をつよく推奨します。	
<b>授業計画</b> 1. ガイダンス、中検概要案内、中国語検定試験過去問ヒアリング問題 2. 未習文法事項の講義1 3. 未習文法事項の講義2 4. 未習文法事項の講義3 5. 未習文法事項の講義4 6. 未習文法事項の講義5 7. 未習文法事項の講義6 8. 未習文法事項の講義7 9. 中国語検定試験過去問 10. ヒアリング集中練習 11. 中国語検定試験過去問 12. ヒアリング集中練習 13. 中国語検定試験過去問 14. ヒアリング集中練習 15. 中国語検定試験過去問	
<b>授業時間外の学習について</b> 「中国語検定過去問 web」では、約30回分の過去問を解くことができありますが、授業ではそのうちのいくばくかを取りあげられるに過ぎません。 同システムでは過去問の他に、50回ほどの練習問題を自習できますので、リスニングや単語、語順や長文など、自らテーマを作って、授業時間外でもなるべく多く中国語に触れてください。 また、単語についても教科書で既習のもの以外を身につける必要があります。これについても基本的には授業時間外での学習とし、その習熟度を授業で確認します。	
<b>学生へのメッセージ</b> <b>&lt;履修上の注意&gt;</b> 受講希望者の数によっては、クラスを分けることもあります。  <b>&lt;自主学習&gt;</b> 中国語検定試験のWEB教材が利用できます。本科目履修者は必ず中検WEBのIDを取得しておいて下さい。自宅からのアクセスも可能ですので、大いに利用し、実際に中国語検定試験にチャレンジしてみてください。	
<b>教科書</b> 中検4級対応の単語帳を1冊購入してもらいます（詳細は授業で指示）。その他授業に必要な資料は、プリントを配布します。	
<b>参考書</b> 『イーリス中国語—京女生のための中国語（文法篇）—』（KWUO），2017 中川正之、『はじめての人の中国語』，くろしお出版，1996 相原茂ほか、『中国学習 Q&A101』，大修館書店，2000	
<b>評価方法</b> まとめ70文法事項の理解、およびヒアリング 平常点30授業への積極的な姿勢	
<b>京女ALアクティブ・ラーニング区分</b> 振り返り（小テスト）、授業時間外学習（e-ラーニング）	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語ⅡB1	単位数：
担当教員名：加藤聡	
対象学生：大学2	
副題 読解	
<b>授業の到達目標</b> ある程度まとまった文章（散文）を読み、中国語の表現を味わうなかで、中国語文法の理解を深めます。 あわせて中国語の背景をなす中国の社会や文化への理解を深めていくことを目標とします。	
<b>授業の概要</b> 文章（散文）を読みます。散文を読むということは、相手に解りやすくすじみちを立てて説明する言葉の使い方を勉強することになります。中国語の運用能力を本当に身につけようと思えば、日常会話に使えるような単文を暗記するといった勉強だけでなく、ある程度まとまったいい文章を読むということが欠かせません。 表現法も多様になり、出現する語彙もにわかにも豊富になります。しかし、ぐっと広がる中国語の世界を楽しみましょう。半年後、力がついたことをきくと実感するでしょう。 中国語ⅡB2、ⅡB3が関連します。	
<b>授業計画</b> 1. 現代中国の時事・世相に関する論説文 2. 現代中国の時事・世相に関する論説文 3. 現代中国の時事・世相に関する論説文 4. 現代中国の時事・世相に関する論説文 5. 現代中国の時事・世相に関する論説文 6. 日中生活・文化比較に関する論説文 7. 日中生活・文化比較に関する論説文 8. 日中生活・文化比較に関する論説文 9. 日中生活・文化比較に関する論説文 10. 日中生活・文化比較に関する論説文 11. 随筆、小説などの文章 12. 随筆、小説などの文章 13. 随筆、小説などの文章 14. 随筆、小説などの文章 15. まとめ	
<b>授業時間外の学習について</b> 予習は、最低限、新出の単語について調べます。それから分からない所を洗い出しておきましょう。 復習は、文の構造を意識して、必ず自分のイメージをつけて覚えるようにします。そうしないと語感が養われません。短時間でも繰り返しやるのが効果的です。 また、中国語検定やHSKなどの検定試験を受験することによって、自らの目標到達度を測ることができます。	
<b>学生へのメッセージ</b> <b>&lt;履修上の注意&gt;</b> 同時限開講クラスの履修登録者数に著しい偏りが生じた場合には、クラスを再編成することがあります。授業の到達目標は同じですので安心して下さい。	
<b>&lt;自主学習&gt;</b> 中国語そのものについても、テレビやインターネット、映画、雑誌など教材はあちこちころがっています。少しずつでも、要するに「慣れる」ことが肝心です。 また、中国の歴史、文化や社会にも関心を持って、その方面の読書をするなどのことも大事なことです。	
<b>教科書</b> 購入不要。適宜プリントを使用します。	
<b>参考書</b> 講義のなかで適宜紹介します。	
<b>評価方法</b> まとめ70文章を読むことから 平常点30授業への積極的な姿勢	
<b>京女ALアクティブ・ラーニング区分</b> 振り返り、対話型授業、授業時間外学習	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語ⅡB2	単位数：
担当教員名：鮑良	
対象学生：大学2	
副題 表現 B（「会話」話す）	
授業の到達目標 この講義は一回生で学んだ文法と発音の基礎をもとに、中国語ⅡA2の延長として、リスニングと会話に重点をおいて練習します。基礎会話ができるようにするのが目標です。	
授業の概要 会話するためには、まず相手の言葉を聞き取れなければなりません。この授業ではまずあるテーマについてリスニングの練習をします。しれから聞き取れた内容を中心に会話に練習をします。また、毎回の授業の初めに10分から15分を利用して、中国語検定試験の過去問のリスニング問題をやります。	
授業計画 1. 道のたずねる1 2. 道のたずねる2 3. 道のたずねる3 4. 入国手続き 5. 宿泊 6. 飲食1 7. 飲食2 8. チケット購入1 9. チケット購入2 10. 病院 11. 郵便局 12. 宴会 13. 総合練習 14. 総合練習 15.まとめ	
授業時間外の学習について 毎週1時間の予習復習が必要です。	
学生へのメッセージ ＜履修上の注意＞ 繰り返し聞かなければ、「聞く力」が付きません。 積極的に発言することが会話力に繋がります。 ＜自主学習＞ 積極的にグループ練習に参加し、「話す」力を高めましょう。	
教科書 中国語リスニング道場 朝日出版社 2015	
参考書 授業で指示します。	
評価方法 まとめテスト60主として聞く力。 平常点40 授業での積極的な姿勢、小テストなど。	
京女ALアクティブ・ラーニング区分 振り返り、対話型授業、グループ学習。	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語ⅡB3	単位数：
担当教員名：加藤聡	
対象学生：大学2	
副題 現代中国事情 A	
<b>授業の到達目標</b> 現代中国に取材した映像を通して、私達の学ぶ中国語を話す人たちがどのような生活を送り、どのような文化や習慣、考え方をものかについて知る。	
<b>授業の概要</b> この授業では、“老百姓”（一般庶民）が暮らす中国の街を歩く映像をもちいて、各地の風土やそこに暮らす人びと、さまざま異なる文化などを紹介します。また、現代中国がかかえる社会問題をとりあげたドキュメンタリーや、現代の社会風俗を反映する映画なども視聴し、できるかぎり多様な中国を知り、感じてもらう予定です。映像にあらわれた中国語表現についても、毎回少しずつ解説し、聴き取りをはじめとした中国語力の向上にも役立ちます。 さらに、毎回の授業の初めには、現地でのさまざまな生活場面で役に立つ短いスキットを聴き取り、発	
<b>授業計画</b> 1. ガイダンスと導入 2. 黄山宏村の街を歩く（1） 3. 黄山宏村の街を歩く（2） 4. 現代中国の社会問題を知る（1） 5. 台北の街を歩く（1） 6. 台北の街を歩く（2） 7. 北京の街を歩く（1） 8. 北京の街を歩く（2） 9. 現代中国の社会問題を知る（2） 10. 西安の街を歩く 11. 西安の街を歩く 12. 現代中国映画の観賞（1） 13. 現代中国映画の鑑賞（2） 14. 現代中国映画の鑑賞（3） 15. 現代中国映画の鑑賞（4）、まとめ	
<b>授業時間外の学習について</b> 予習は特に必要ありません。 復習は、授業中に出てきた中国語の表現について、文字おこした資料をもとに場面とともに繰り返したり、授業中に解説した事項について、自ら関連書籍やネットで調べ、理解をふかめてください。	
<b>学生へのメッセージ</b> <b>&lt;履修上の注意&gt;</b> 水曜1限目の劉クラスの内容は、留学のための準備という性格の現代中国事情、水曜2限目の加藤クラスの内容は、一般的な現代中国事情です。 なによりも素直な感受性を以て授業に望むことを希望します。	
<b>&lt;自主学習&gt;</b> 中国の歴史や文化に関心を持って、その方面の読書をするなどのことも大事なことです。	
<b>教科書</b> 適宜プリントを配布します	
<b>参考書</b> なし。必要に応じてプリントを配布します。	
<b>評価方法</b> レポート 70 現代中国について主体的に知り、考えようとしているか 平常点 30 授業への積極的な参加	
京女 AL アクティブ・ラーニング区分 対話型授業、ディスカッション	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語ⅢA1	単位数：
担当教員名：愛甲弘志	
対象学生：大学3	
副題 現代中国事情B(インターネットによる情報の収集・発信)	
<b>授業の到達目標</b> この講義はパソコン教室でインターネットを利用して、中国のホームページなどから中国に関する最も新しい情報を入手したり、中国映画を見たりと、現代の中国や中国語をより身近に感じながらスキルアップをはかることを目標とします。	
<b>授業の概要</b> 具体的には、以下の「授業計画」にあるような内容で行いますが、上の目標を達成するために、もう少しみなさんの中国語に磨きをかける必要があるでしょう。そこでゲーム的要素をもった中国語学習ソフトや中国語の検定問題にも少しずつ取り組んでみましょう。(いつでも、どこでもインターネットで中国語検定試験用の学習ができる e-learning 教材のアカウントも受講者全員がもらえます)。この授業では主に読み解く力と聞く力が養われます。ここで学ぶと三回生後期相当クラスの中国語ⅢB 1 及び中国語ⅢB 2、四回生前期相当クラスの中国	
<b>授業計画</b> 1.パソコンで中国語を打つ。(中国語入力ソフトの使い方を学ぶ) 2.ホームページ内の中国語学習ツールを探す。 3.中国のホームページを開く。 4.中国のトピックスをホームページから教師が選んでみんなで読む。 5.中国のトピックスをホームページから教師が選んでみんなで読む。 6.最も関心のあるトピックス(中国語 300 字程度)を学生が訳してきて、それをみんなで読む。中国映画鑑賞。中国語学習ソフト。 7.最も関心のあるトピックス(中国語 300 字程度)を学生が訳してきて、それをみんなで読む。中国映画鑑賞。中国語学習ソフト。 8.最も関心のあるトピックス(中国語 300 字程度)を学生が訳してきて、それをみんなで読む。中国映画鑑賞。中国語学習ソフト。 9.最も関心のあるトピックス(中国語 300 字程度)を学生が訳してきて、それをみんなで読む。中国映画鑑賞。中国語の検定問題。 10.最も関心のあるトピックス(中国語 300 字程度)を学生が訳してきて、それをみんなで読む。中国語の検定問題。 11.最も関心のあるトピックス(中国語 300 字程度)を学生が訳してきて、それをみんなで読む。中国語の検定問題。 12.最も関心のあるトピックス(中国語 300 字程度)を学生が訳してきて、それをみんなで読む。中国語の検定問題。 13.最も関心のあるトピックス(中国語 300 字程度)を学生が訳してきて、それをみんなで読む。中国語の検定問題。 14.最も関心のあるトピックス(中国語 300 字程度)を学生が訳してきて、それをみんなで読む。中国語学習ソフト。 15.最も関心のあるトピックス(中国語 300 字程度)を学生が訳してきて、それをみんなで読む。中国語学習ソフト。	
<b>授業時間外の学習について</b> 平常点が成績評価の大きなウェイトを占めているのは、語学は日々の積み重ねが大事だからです。よって予習と復習をしっかりとしてください。またその際に頼りになるのが辞書ですので辞書は必ず手元に置いておいてください。	
<b>学生へのメッセージ</b> <履修上の注意> みなさんのレベルに合わせてやりますし、もちろんわかりやすく説明しますので、けっして気後れする必要はありません。	
<b>教科書</b> なし	
<b>参考書</b> 講義で紹介。	
<b>評価方法</b> 平常点 40 トピックスの訳および授業での積極的発言など レポート 60 中国のホームページの翻訳の正確さ	
<b>京女 AL アクティブ・ラーニング区分</b> 振り返り、対話型授業、授業時間外学習、プレゼンテーション	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語ⅢA2	単位数：
担当教員名：劉小俊	
対象学生：大学3	
副題 表現C（会話）	
<b>授業の到達目標</b> 中国語ⅡA2・ⅡB2の基礎の上に、会話を練習します。日常の身近な題材を扱ったテキストで、中国語会話に慣れ親しむことを目指します。聞く力や口頭での表現能力をレベルアップすることを主眼にします。	
<b>授業の概要</b> 出来るだけ中国語で授業を進めるよう心がけます。また、学生を中心に活発的な発言が飛び交う雰囲気、気楽で楽しい雰囲気を築いていきましょう。中国語による簡単な発表と、パートナーとの練習という形で、習った会話を応用した実演をしてもらうなどします。	
<b>授業計画</b> 1. 言葉と表現 1 2. 会話練習と発表 1 3. 言葉と表現 2 4. 会話練習と発表 2 5. 言葉と表現 3 6. 会話練習と発表 3 7. 表現と文化 1 8. 会話練習と発表 4 9. 表現と文化 2 10. 会話練習と発表 5 11. 表現と文化 3 12. 会話練習と発表 6 13. 総合練習 1 14. 総合練習 2 15. まとめ	
<b>授業時間外の学習について</b> 週1時間予習復習が必要です。	
<b>学生へのメッセージ</b> <履修上の注意> 黙っていても「話す力」が付きません。積極的に会話に加わりましょう。	
<b>教科書</b> 授業で指定します。	
<b>参考書</b> 授業で紹介します。	
<b>評価方法</b> まとめ50話す力。 平常点50 平常の授業での積極的な姿勢、小テスト	
京女ALアクティブ・ラーニング区分 対話型授業、グループ学習、プレゼンテーション。	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語ⅢB1	単位数：
担当教員名：愛甲弘志	
対象学生：大学3	
副題 現代中国事情C(新聞・雑誌・インターネットなどから政治・社会・文化を理解)	
<b>授業の到達目標</b> この講義は、政治・社会・文化といった分野の中から、中国と日本にとっての共通の話題を選び、それらの情報を正しく読み解きつつ、立場の違い、或いは異文化というものについて正しく理解することを目標とします。	
<b>授業の概要</b> パソコン教室で、主にインターネット上の記事などを教材として選び学びます。そこでみなさんの中国語にさらに磨きをかけるためにゲームの要素をもった中国語学習ソフトや中国語の検定問題にも取り組んでみましょう。いつでも、どこでもインターネットで中国語検定試験用の学習ができる e-learning 教材のアカウントも受講者全員がもらえます。この授業では主に読み解く力と聞く力が養われます。ここで学ぶと三回生後期相当クラス中国語ⅢB2と四回生前期相当クラスの中国語ⅢA3がよく理解できるでしょう。	
<b>授業計画</b> 1.政治・社会・文化に関わるトピックスを教師が選んでみんなで読む。中国語学習ソフト。 2.政治・社会・文化に関わるトピックスを教師が選んでみんなで読む。中国語学習ソフト。 3.政治・社会・文化に関わるトピックスを教師が選んでみんなで読む。中国語学習ソフト。中国旅行のための基礎知識。 4.政治・社会・文化に関わるトピックスを教師が選んでみんなで読む。中国語学習ソフト。中国旅行のための基礎知識。 5.政治・社会・文化に関わるトピックス(中国語 400 字程度)を学生が訳してきて、みんなで読む。中国旅行のための基礎知識。 6.政治・社会・文化に関わるトピックス(中国語 400 字程度)を学生が訳してきて、みんなで読む。中国映画鑑賞。 7.政治・社会・文化に関わるトピックス(中国語 400 字程度)を学生が訳してきて、みんなで読む。中国映画鑑賞。 8.政治・社会・文化に関わるトピックス(中国語 400 字程度)を学生が訳してきて、みんなで読む。中国映画鑑賞。 9.政治・社会・文化に関わるトピックス(中国語 400 字程度)を学生が訳してきて、みんなで読む。中国語の検定問題。 10.政治・社会・文化に関わるトピックス(中国語 400 字程度)を学生が訳してきて、みんなで読む。中国語の検定問題。 11.政治・社会・文化に関わるトピックス(中国語 400 字程度)を学生が訳してきて、みんなで読む。中国語の検定問題。 12.政治・社会・文化に関わるトピックス(中国語 400 字程度)を学生が訳してきて、みんなで読む。中国映画鑑賞。 13.政治・社会・文化に関わるトピックス(中国語 400 字程度)を学生が訳してきて、みんなで読む。中国映画鑑賞。 14.政治・社会・文化に関わるトピックス(中国語 400 字程度)を学生が訳してきて、みんなで読む。中国映画鑑賞。 15.政治・社会・文化に関わるトピックス(中国語 400 字程度)を学生が訳してきて、みんなで読む。中国映画鑑賞。	
<b>授業時間外の学習について</b> 平常点が成績評価の大きなウェイトを占めているのは、語学は日々の積み重ねが大事だからです。よって予習と復習をしっかりとってください。またその際に頼りになるのが辞書ですので、辞書は必ず手元に置いておいてください。	
<b>学生へのメッセージ</b> <b>&lt;履修上の注意&gt;</b> 具体的内容は下の「授業計画」にある通りですが、皆さんが読んで理解できなければなりませんので、できるだけ皆さんのレベル合わせ、文法的なチェックも入れながら丁寧に読んでいくことにします。扱う話題も上述の範囲内で皆さんに選んでもらうつもりです。一見、難しいようですが、どこまでもわかるように説明しますので、どんどん質問して下さい。	
<b>教科書</b> なし	
<b>参考書</b> 講義で紹介。	
<b>評価方法</b> 平常点 40 政治・社会・文化に関わるトピックスの訳および授業での積極的発言など レポート 60 中国旅行の企画書の作成の正確さ	
<b>京女 AL アクティブ・ラーニング区分</b> 振り返り、対話型授業、授業時間外学習、プレゼンテーション	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語ⅢB2	単位数：
担当教員名：劉小俊	
対象学生：大学3	
副題 表現 D(作文)	
<b>授業の到達目標</b> 作文を学びます。中国語の文法構造が分かれば、ゲームの様な感覚で単語を並べることによって、中国語を表現することができます。基本的な練習を重ねて中国語の構造が理解できたら、次には応用に進みます。自分の言いたいことは何とか表現できるようにしたいと思います。また応用練習をする中で、できるだけ文法の面白さ、言葉の奥深さについても発見があるように努めたいと思います。	
<b>授業の概要</b> 出来る限り中国語で授業を進めるよう心がけます。また、学生を中心に活発な発言が飛び交う雰囲気、気楽で楽しい雰囲気を築いていきましょう。音読や暗誦を重視し、中国語による作文を発表します。	
<b>授業計画</b> 1. 基本事項の確認 1 2. 基本事項の確認 2 3. 基礎作文 1 4. 基礎作文 2 5. 基礎作文 3 6. 基礎作文 4 7. 基礎作文 1 8. 応用作文 2 9. 応用作文 3 10. 応用作文 4 11. 中日翻訳練習 12. 映画鑑賞 1 13. 映画鑑賞 2 14. 映画鑑賞感想文 15. まとめ	
<b>授業時間外の学習について</b> 週 1 時間予習が必要です。	
<b>学生へのメッセージ</b> <履修上の注意> <履修上の注意> 文法の基礎と語彙量が「作文の力」に繋がります。文法の基礎はもちろんのこと、語彙を増やすように努力しましょう。 <自主学习>	
<b>教科書</b> プリント配布	
<b>参考書</b> 授業で紹介します。	
<b>評価方法</b> まとめ 50 感想文 (中国語) 平常点 50 小テスト	
<b>京女 AL アクティブ・ラーニング区分</b> 振り返り、対話型授業、授業時間外学習、グループ学習、ディスカッション、プレゼンテーション。	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語ⅢA3	単位数：
担当教員名：愛甲弘志・加藤聡	
対象学生：大学4	
副題 名文精読	
<b>授業の到達目標</b> これまで会話や時事文などを学んできましたが、このクラスでは名文といわれる文章に接して、上質な中国語に触れ、そのエッセンスを汲み取り、ひいては皆さんの日本語に磨きをかけてもらう、そのきっかけになればと思っています。また大学院受験で中国語を選択する学生にとっても大いに参考になることでしょう。	
<b>授業の概要</b> 一つの作品を3時間から4時間の割合で、わかりやすくをモットーに、じっくりと味わっていきたいと考えています。 この授業では主に読み解く力を養われます。よって三回生相当クラスの中国語ⅢA1・中国語ⅢB1・中国語ⅢB2を履修しておく、この授業がよく理解できるでしょう。	
<b>授業計画</b> 1.宮澤賢治「銀河鉄道の夜」の中国語訳(1) 2.宮澤賢治「銀河鉄道の夜」の中国語訳(2) 3.宮澤賢治「銀河鉄道の夜」の中国語訳(3) 4.宮澤賢治「銀河鉄道の夜」の中国語訳(4) 5.宮澤賢治「猫の事務所」の中国語訳(1) 6.宮澤賢治「猫の事務所」の中国語訳(2) 7.宮澤賢治「猫の事務所」の中国語訳(3) 8.魯迅の作品を日本語訳(1) 9.魯迅の作品を日本語訳(2) 10.魯迅の作品を日本語訳(3) 11.魯迅の作品を日本語訳(4) 12.魯迅の作品を日本語訳(5) 13.魯迅の作品を日本語訳(6) 14.魯迅の作品を日本語訳(7) 15.まとめ	
<b>授業時間外の学習について</b> 平常点が成績評価の大きなウェイトを占めているのは、語学は日々の積み重ねが大事だからです。よって予習と復習をしっかりとください。またその際に頼りになるのが辞書ですので、辞書は必ず手元に置いてください。	
<b>学生へのメッセージ</b> <b>&lt;履修上の注意&gt;</b> 辞書は必ず持参して下さい。 みなさんのレベルに合わせて説明をしますので気後れする必要はありません。またどんなことでも質問を投げかけて下さい。 <b>&lt;自主学習&gt;</b> 中国の文学作品の日本語訳はたくさんあります。授業で扱うもの以外の作品にもぜひ触れてみてください。	
<b>教科書</b> プリントを配布します。	
<b>参考書</b> 授業で適宜紹介します。	
<b>評価方法</b> 平常点 30 予習や授業での発言といった積極的な取り組み。 まとめ 70 翻訳の正確さ。	
<b>京女 AL アクティブ・ラーニング区分</b> 対話型授業、ディスカッション、プレゼンテーション	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国語ⅢB3	単位数：
担当教員名：劉小俊	
対象学生：大学4	
副題 中国・中国語をより深く、より広く知る	
<b>授業の到達目標</b> 中国語ⅢA3では文学作品を通して中国語を学習しましたが、この授業では、中国メディアの情報を利用し、社会・文化・経済・芸能などのニュース記事を教材として、言葉を含む現在の中国を紹介します。到達目標は現代中国をより理解し、中国語能力をさらに高めることです。また、授業は基本的に中国語で行われます。	
<b>授業の概要</b> 小人数の授業なので、受講生の皆さんの興味あるテーマを教材に取り入れます。また、受講生のみなさんにそれぞれ興味のあるテーマについて調べ、授業中で中国語で発表してもらいます。受講生は一方的に授業を「受ける」のではなく、自分の学習成果、考えを自由に述べ、教員、受講生の皆さんが一体になって、授業を進めます。	
<b>授業計画</b> 1. 中国メディアの紹介 2. 現代中国の言語事情 1 3. 現代中国の言語事情 2 4. 社会事情の記事 1 5. 社会事情の記事 2 6. 文化事情記事 1 7. 文化事情記事 2 8. 文化事情記事 3 9. 経済事情の記事 10. 日中文化の違い 1 11. 日中文化の違い 2 12. 日中文化の違い 3 13. 映画・テレビドラマの紹介 14. 留学生を招いてのディスカッション 15. まとめ	
<b>授業時間外の学習について</b> インターネットを利用して、中国に関することを調べる必要があります。	
<b>学生へのメッセージ</b> <履修上の注意>  <積極的に授業に参加、発言すること>	
<b>教科書</b> プリントを配布します。	
<b>参考書</b> 授業で適宜紹介します。	
<b>評価方法</b> 平常点 30 受講態度、プレゼンテーション レポート 70 中国語で自分が興味のあるテーマを紹介し、意見を述べる。	
<b>京女 AL アクティブ・ラーニング区分</b> 対話型授業、授業時間外学習、ディスカッション、プレゼンテーション。	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：国文学特殊講義 6A	単位数：2
担当教員名：滝川幸司	
対象学生：国文3・4	
副題 和歌史の中の漢詩文—万葉集関係資料について	
授業の到達目標 平安時代の人々が万葉集についてどのようにとらえていたのかを、漢文資料を中心に検討し、作品がどのように享受されていくのかという問題について新たな視点を獲得する。	
授業の概要 奈良時代に成立したとされる万葉集が、平安時代の人々にどのようにとらえられていたのか、を考える。おおむね平安前期の資料に見える万葉集について検討する。その多くは漢文で記されており、万葉集の成立に関わる資料である。また、平安人が、漢字で書かれた万葉集を読み解こうとした過程でもある。時代順に資料を提示し、それを読解していくことで授業を進める。講義の予定は以下の通りであるが、受講生の理解度、興味によって、どこに重点を置くかを決めるので、以下の予定は目安と考えてほしい。	
授業計画 1.ガイダンス—講義の目的と概要— 2.万葉集はいつできたのか①—清和天皇の問いかけ— 3.万葉集はいつできたのか②—何故文室有季に尋ねたのか— 4.万葉集の訓読と漢文学 5.新撰万葉集序文に見える万葉集①—新撰万葉集とは 6.新撰万葉集序文に見える万葉集②—菅原道真万葉集編纂説について 7.新撰万葉集序文に見える万葉集③—新撰万葉集序文偽書説について 8.新撰万葉集序文に見える万葉集④—序文読解 9.古今和歌集真名序に見える万葉集①—真名序の描く和歌史 10.古今和歌集真名序に見える万葉集②—柿本大夫 11.古今和歌集真名序に見える万葉集③—平城天子と万葉集の編纂 12.古今和歌集仮名序に見える万葉集①—仮名序の描く和歌史 13.古今和歌集仮名序に見える万葉集②—「ならの御時」 14.古今和歌集仮名序に見える万葉集③—「正三位柿本人麻呂」 15.まとめと試験	
授業時間外の学習について 資料は次週分まで配布する。漢文中心の資料となる。必要最小限の注解は付しておくが、漢文が得意でない場合は前もって資料を読み、内容を把握しておくこと。さもなければ、授業についていくことは困難である。また、授業中に紹介した先行研究については、できる限り全体を読むようにしておくこと。	
学生へのメッセージ 授業の最後にコメントカードを配布して、理解度を確認する。	
教科書 なし	
参考書 講義中に紹介する。	
評価方法 試験 100%講義内容を把握しているか。資料に基づく議論ができているか。	
京女 AL アクティブ・ラーニング区分 コメントカードを用いた振り返りを主として実施する。	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：国文学特殊講義 6B	単位数：2
担当教員名：山本嘉孝	
対象学生：国文3・4	
副題 江戸時代の名所図会と漢詩文	
授業の到達目標 ①前近代日本における和漢の文芸・絵画・学問の連関について理解する。 ②江戸時代の日本漢詩文の読み解き方を学ぶ。 ③板本のくずし字に親しむ。	
授業の概要 安永～天保期（1780～1840年）、上方を中心に出版された名所図会（めいしよずえ）に引用されている漢詩・漢文を読み、漢文学が江戸時代の日本の名所の形成にいかに関与したかについて考察する。特に、（1）日本と中国の名所・故事の並列、（2）漢詩の視覚化と「臥遊」、（3）漢文と考証、の3つのテーマに焦点を当てながら、文芸・絵画・学問の連関が江戸時代の文化・世相をいかに形作るものであったかを探る。和文脈・漢文脈の交渉についても考える。	
授業計画 1.名所図会に引用された漢詩文：「臥遊」と考証 2.漢詩①風俗詩 3.漢詩②狂詩 4.漢詩③詠史詩 5.漢詩④山水詩 6.漢詩⑤詩会・人的交流 7.漢詩⑥龍草廬の孫娘が作った漢詩 8.漢詩⑦海外へのまなざし 9.漢文①紀行文・「記」の文体 10.漢文②楠木正成の碑銘 11.漢文③紫式部の碑銘 12.漢文④化石の碑銘 13.時代別まとめ①平安朝の漢詩文 14.時代別まとめ②五山の漢詩文 15.時代別まとめ③同時代（近世）の漢詩文	
授業時間外の学習について 各自、公開されている画像データベースを利用して名所図会を眺め、期末レポート執筆に備えること。	
学生へのメッセージ 日本文学・中国文学・東洋美術史・日本史など複数の分野を横断する内容です。	
教科書 なし	
参考書 『漢辞海』（紙媒体あるいはアプリ） 『日本名所図会全集』（名著普及會、1975年）藤川玲満『秋里籬島と近世中後期の上方出版界』（勉誠出版、2014年）	
評価方法 期末レポート70 調査力、文章力、思考力 授業内レスポンスペーパー30 文章力、思考力	
京女ALアクティブ・ラーニング区分 対話型授業、授業時間外学習	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：漢文学 A	単位数：2
担当教員名：滝川幸司	
対象学生：国文 2・3・4	
副題 漢文学の基礎を学ぶ。	
授業の到達目標 漢字の字体、漢文資料、漢文の文体、儒教を含めた思想の概要など、漢文を読解するための基礎知識を獲得することを目的とする。	
授業の概要 漢文学を学ぶ基礎となる知識について、漢字から始めて、漢文資料、思想、文体、また、漢文を読解する際の基礎的な知識を講義する。できる限り日本文学との関係についても言及する。授業内容はあくまで基礎的な部分なので、深く学びたい受講生は、授業中に紹介する参考文献を読むこと。なお、授業の最後にコメントカードを提出してもらい、授業の理解度を確認する。 以下にあげる内容はあくまで目安であり、受講生の理解度、要望によって変更する場合がある。	
関連科目 講読漢文 A・B	
授業計画 1. ガイダンス 2. 漢字について①—漢字の形成 3. 漢字について②—漢字の字体について 4. 漢字について③—漢字の音について 5. 漢字について④—漢字の訓について 6. 漢字について⑤—漢字の形・音・義と辞書 7. 漢文の資料の分類について①—目録学について 8. 漢文の資料の分類について②—六部分類から四部分類へ 9. 経書について①—易・書・詩 10. 経書について②—礼・楽・春秋 11. 経書について③—論語・孝経 12. 経書について④—五経から十三経へ 13. 集について①—楚辞 14. 集について②—文選 15. まとめと試験	
授業時間外の学習について 授業中に紹介する参考文献にはできる限り触れること。	
学生へのメッセージ 漢和辞典（電子辞書も可）を携帯すること。	
教科書 なし	
参考書 阿辻哲次『漢字再入門』中公新書、2013 坂出祥伸『これだけは知っておきたい 中国古典を読むはじめての一步』中国書店、2008	
評価方法 試験 100 授業内容を把握できているかで判断する。	
京女 AL・アクティブ・ラーニング区分 コメントカードを用いた振り返りを主として実施する。	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：漢文学 B	単位数：2
担当教員名：山本嘉孝	
対象学生：国文 2・3・4	
副題 江戸時代の漢文笑話を読む	
授業の到達目標 ①江戸時代の日本漢文を読解することができる。 ②原資料（板本）に基づき、翻字・訓読することができる。	
授業の概要 江戸時代の儒者、山本北山（1752-1812）による漢文戯作（漢文笑話集）『笑堂福聚』（享和四年（1804）刊）を輪読する。毎授業、予習してきた箇所の笑話を受講者全員に訓読（音読）してもらい、解釈や内容について全員で議論する。中国の笑話や近世日本の噺本（咄本）なども参照する。	
授業計画 1.はじめに 2.江戸時代の漢文笑話について 3.『笑堂福聚』輪読① 4.『笑堂福聚』輪読② 5.『笑堂福聚』輪読③ 6.『笑堂福聚』輪読④ 7.『笑堂福聚』輪読⑤ 8.『笑堂福聚』輪読⑥ 9.『笑堂福聚』輪読⑦ 10.『笑堂福聚』輪読⑧ 11.期末レポートの書き方 12.『笑堂福聚』輪読⑨ 13.『笑堂福聚』輪読⑩ 14.『笑堂福聚』輪読⑪ 15.まとめ	
授業時間外の学習について 授業の最後に配布するプリントを次の授業までに予習（自分で訓読）してくること。	
学生へのメッセージ 江戸時代に漢文で書かれた笑話をひたすら訓読していく授業です。ただ訓読の練習がしたい、という方も歓迎です。	
教科書 なし	
参考書 『漢辞海』（紙媒体あるいはアプリ） 日本漢文小説研究会編『日本漢文小説の世界—紹介と研究』（白帝社、2005年）琴榮辰『東アジア笑話比較研究』（勉誠出版、2012年）	
評価方法 期末レポート 70 思考力、文章力 授業への参加 30 訓読能力	
京女 ALアクティブ・ラーニング区分 対話型授業、授業時間外学習、グループ学習、ディスカッション	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国文学史 A	単位数：2
担当教員名：愛甲弘志	
対象学生：国文2・3・4	
副題 中国文学が語りかけるもの(先秦～宋代)	
<p><b>授業の到達目標</b> この「中国文学史A」は中国文学史を大きく二つに分けたその前半の時代、つまり先秦・漢・魏・晋・南北朝・唐・宋までの文学についてお話しします。因みにその後半部にあたる「中国文学史B」は、元・明・清・近現代についてのものです。</p> <p>副題に掲げたように中国文学は私たちに何を語りかけているのでしょうか。これは裏返してみると私たちは中国文学から何を学んできたのかということでもあるでしょう。そこでこの講義では中国文学に関する知識を追いかけるといっても、それぞれの時代の文学作品の鑑賞や詩人たちのありようを通して、そこからどんな問題が浮かび上がってくるのかについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。ここで考えたことは日本文学、あるいは現代について考える上でもきっと大いに役立つことでしょう。</p>	
<p><b>授業の概要</b> 板書ではなく、パソコンの資料(原文・地図・写真など)をスクリーンに映して授業を行います。具体的なテーマについては、下記の「授業計画」に記されている通りですが、学生のみなさんたちで中国文学のイメージを膨らませてほしいと思っていますので、みなさんとのことばのキャッチボールも絶えず行いたいと思います。</p> <p>この授業をよりよく理解するために漢文の授業を履修するのをお薦めします。</p>	
<p><b>授業計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.中国について(中国の地理・歴史)</li> <li>2.中国語について(中国語の特徴)</li> <li>3.中国語と漢文について</li> <li>4.中国文学史について</li> <li>5.中国文学に於ける諸問題について 1</li> <li>6.中国文学に於ける諸問題について 2</li> <li>7.中国文学に於ける諸問題について 3(小レポート)</li> <li>8.先秦・六朝の文学について 1</li> <li>9.先秦・六朝の文学について 2</li> <li>10.唐代の文学について 1</li> <li>11.唐代の文学について 2</li> <li>12.唐代の文学について 3</li> <li>13.宋代の文学について 1</li> <li>14.宋代の文学について 2</li> <li>15.宋代の文学について 3</li> </ol>	
<p><b>授業時間外の学習について</b> この講義での内容についてしっかりと復習して理解しておくことはもちろんのこと、講義で言及した詩人や文学作品についてさらに理解を深めるために自分でいろいろと調べることはもっと大事なことです。ぜひそのような勉強を心がけてください。</p>	
<p><b>学生へのメッセージ</b></p> <p>&lt;履修上の注意&gt; 中国語を履修していなくてもだいじょうぶです。わかりやすくを心掛けて講義をします。</p> <p>&lt;自主学習&gt; 関連する内容について自分で調べたことを講義で紹介してみなさんなりの考えを述べることであれば大いに期待しています。</p>	
<p><b>教科書</b> プリントを配布。</p>	
<p><b>参考書</b> 興膳宏編『中国文学を学ぶ人のために』世界思想社、1991 九州大学中国文学会編『わかりやすくおもしろい中国文学講義』中国書店、2002</p>	
<p><b>評価方法</b> 平常点 40 平常の講義での小レポート、積極的発言など レポート 60 講義に関連した課題についての論述の確かさ</p>	
<p>京女 AL アクティブ・ラーニング区分 振り返り、対話型授業、ディスカッション</p>	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：中国文学史 B	単位数：2
担当教員名：加藤聡	
対象学生：国文 2・3・4	
副題 宋元以降の中国俗文学史——さまざまな形式の「うた」を通じて見る	
授業の到達目標 中国古典文学史を、著名作品やその作者、ジャンルの特徴といった個々の知識の羅列として捉えるのではなく、それらの有機的つながりを自ら発見し、さらには日本をはじめとする中国以外の地域における既知の文学的現象と照らしあわせて理解できるようになること。	
授業の概要 中国文学史 A にひきつづいて、宋元以降民国はじめに至る中国古典文学の歴史をたどります。とはいえ、この時期における中国文学史上の豊富な成果を逐一取りあげて解説してみても、おそらく面白みに欠けることになるでしょう。 そこでこの授業では、宋元以降の中国文学史を特徴付ける「白話」と「俗」との観点から、特にうた（韻文・歌謡）のジャンルとそれに関連するものがたりの文学とに的を絞り、それらの歴史的展開を、唐宋以前の淵源への目くばせもしつつ講じます。	
授業計画 1. 文言と白話、「雅」と「俗」 2. 胡適「文学改良芻議」からみた中国前近代文学（1） 3. 胡適「文学改良芻議」からみた中国前近代文学（2） 4. 詞曲への道程（1） 5. 詞曲への道程（2） 6. 詞（1） 7. 詞（2） 8. 詞（3） 9. ものがたりとうた（1） 10. ものがたりとうた（2） 11. ものがたりとうた（3） 12. 曲（1） 13. 曲（2） 14. 曲（3） 15. まとめ	
授業時間外の学習について 予習として事前配布の資料を読んでくることを求める場合があります。復習は毎回の要点を自ら整理して理解することに重点を置いてください。また、講義中にとりあげることのできる具体的作品は限られていますので、興味と関心、あるいは必要にしたがって関連作品・資料を読み、理解を深めてください。	
学生へのメッセージ 中国語を履修している必要はありませんし、漢文が苦手でも、そのことによって授業内容が理解できなくなる心配はまったくありません。講義ではみなさんがいままでの「漢文」では習ったこともないような作品・資料を多くとりあげます。国文学科のみなさんが日本文学をより深く理解するためのよき比較材料として、中国の文学が役立つことを願っています。	
教科書 なし。必要資料はプリントとして配布します。	
参考書 村上哲見、『宋詞の世界：中国近世の抒情歌曲』、大修館書店（あじあブックス）、2002 田中謙二、『楽府・散曲』、筑摩書房（中国詩文選 22）、1983 後藤裕也ほか、『中国古典名劇選』、東方書店、2016	
評価方法 レポート 70 授業のテーマに関連して、自らの発見や考えを表現できているか 平常点 30 授業への積極的な参加	
京大 AL アクティブ・ラーニング区分 振り返り、対話型授業、授業時間外学習	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：東洋史特殊講義 1	単位数：2
担当教員名：松浦典弘	
対象学生：史学 2	
副題 中国中世仏教史の諸相	
授業の到達目標 政治や社会の動きと関連付けながら仏教の歴史を考え、中国中世の時代像への理解を深める。	
授業の概要 伝来から、受容され定着していく南北朝期を経て、隆盛を迎える隋唐期に至るまでの中国仏教史について、政治や社会との関連を視野に入れつつ検討していく。大きな影響力を持った仏教の歴史を通して、時代の全体像をとらえることを目指す。	
授業計画 1. ガイダンス 2. 仏教の中国伝来 3. 仏典の漢訳 4. 五胡・東晋期の仏教 5. 南朝の政治と仏教 6. 北魏の仏教と道教 7. 北周武帝の廃仏 8. 隋代の仏教 9. 唐代初期の政治と仏教 10. 則天武后と仏教 11. 玄宗と道教・仏教 12. 安史の乱後の政局と仏教 13. 会昌の廃仏 14. 唐末五代の仏教 15. まとめ	
授業時間外の学習について 参考文献を適宜紹介していくので、それを読解しておく。	
学生へのメッセージ 史料を紹介しながら進めていくので、基礎的な漢文の読解力を身に付けていることが望ましい。	
教科書 なし	
参考書 佛敎史学会編『仏教史研究ハンドブック』、法蔵館、2017年	
評価方法 平常点 100 授業中に行う小テストなどで評価する。	
京女 AL アクティブ・ラーニング区分 振り返り（授業内容が理解できているか、小テストを行う）	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：東洋史特殊講義 2	単位数：2
担当教員名：松浦典弘	
対象学生：史学 2	
副題 前近代における日中交渉の歴史	
授業の到達目標 東アジア世界の中での中国と日本の交流の歴史を理解する。	
授業の概要 東北アジアや朝鮮半島も視野に入れながら、中国と日本の交流の歴史について講義する。政治・制度・文化など幅広い視点から検討することを旨とする。	
授業計画 1. ガイダンス 2. 6世紀以前の中国と日本 3. 隋と日本 4. 遣唐使 5. 日唐仏教交流史—7～8世紀 6. 日唐仏教交流史—9世紀 7. 日宋貿易 8. 日宋仏教交流史 9. 元と日本—元寇・日元貿易 10. 日元仏教交流史 11. 日明貿易 12. 日明文化交流史 13. 倭寇 14. 清と日本 15. まとめ	
授業時間外の学習について 参考文献を適宜紹介していくので、それを読解しておく。	
学生へのメッセージ 史料を紹介しながら進めていくので、基礎的な漢文の読解力を身に付けていることが望ましい。	
教科書 なし	
参考書 佛教史学会編『仏教史研究ハンドブック』、法蔵館、2017年	
評価方法 平常点100 授業中に行う小テストなどで評価する。	
京女ALアクティブ・ラーニング区分 振り返り（授業内容が理解できているか、小テストを行う）	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：東洋史特殊講義 7	単位数：2
担当教員名：箱田恵子	
対象学生：史学 3	
副題 近代中国における東西文化交流	
授業の到達目標 近代中国における東西文化交流の歴史を知り、西洋の中国に対する影響だけでなく、東西相互の影響についても理解する。	
授業の概要 本講義では、近代中国における東西文化交流の歴史を講義する。その際、とくに中国にやってきた外国人宣教師や外交官、また中国から海外に派遣された留学生や外交官など、国境をまたいで行き来した人物を具体的に取り上げ、近代中国における西洋の影響だけでなく、東西の相互作用についても説明する。	
授業計画 1. 導入 2. 清代の国際関係とその変化 3. 近代初期の来華外国人とその影響 4. 第二次アヘン戦争と清朝国際関係の変化 5. 外国人外交官の活動とその影響 6. 租界の発展 7. 外国語学校の設立 8. 初期の留学生 9. 清朝外交官の派遣とその活動①初期の外交官 10. 清朝外交官の派遣とその活動②駐米公使 11. 清朝外交官の派遣とその活動③薛福成 12. 日本を通じた西洋理解①梁啓超 13. 日本を通じた西洋理解②日本留学の盛行 14. アメリカ留学とその影響①私費留学 15. アメリカ留学とその影響②庚款留学 定期試験	
授業時間外の学習について 講義中に指示する参考文献に目を通し、授業に備えてください。	
学生へのメッセージ 日本史（あるいは既習内容）と関係ないことには興味がない、分からないと初めから切り捨ててしまうのではなく、積極的に新しい視点・新しい知見を求める姿勢で受講してください。	
教科書 なし（毎回レジュメを配布します）	
参考書 坂野正高『近代中国政治外交史』東京大学出版会、1973年	
評価方法 ミニテスト 15 授業への取り組み姿勢 定期試験 85 講義内容の理解度	
京女 AL アクティブ・ラーニング区分 振り返り	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：東洋史特殊講義 9	単位数：2
担当教員名：松井嘉徳	
対象学生：史学 3	
副題 中国出土文字史料の検討	
<p><b>授業の到達目標</b> 20世紀の中国古代理史研究は、殷墟での甲骨文の発見、河西回廊での簡牘（木簡）の発見から始まった。以来、次々と報告される出土文字史料の発見は中国古代理史研究の様相を一変し、既存の文献史料に基づいた研究からは窺い知ることができなかった様々な事実を明らかにしつつある。</p> <p>本科目では、中国古代理史研究にとって最早必須の知識となった出土文字史料について、その発見の経緯、研究史を概説するとともに、新発見の史料から導き出される諸々の問題群を紹介し、中国古代理史研究の現状を解説する。</p>	
<p><b>授業の概要</b> 配布資料（プリント）に基づき、下記の授業計画に沿って講義する。出土文字史料そのものを示すことは困難であるが、それに関わる史料集などには実際に触れることができるよう、配慮したい。</p>	
<p><b>授業計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出土文字史料とは何か - 二重証法</li> <li>2. 甲骨文字史料の発見と研究史</li> <li>3. 甲骨文字史料と殷代史 1</li> <li>4. 甲骨文字史料と殷代史 2</li> <li>5. 青銅器銘（金文）史料の発見と研究史</li> <li>6. 青銅器銘（金文）史料と周代史 1</li> <li>7. 青銅器銘（金文）史料と周代史 2</li> <li>8. 簡牘（木簡）・帛書史料の発見と研究史</li> <li>9. 簡牘（木簡）・帛書史料と戦国・秦漢史 1</li> <li>10. 簡牘（木簡）・帛書史料と戦国・秦漢史 2</li> <li>11. 石刻史料の発見整理と研究史</li> <li>12. 石刻史料と漢代史 1</li> <li>13. 石刻史料と漢代史 2</li> <li>14. その他の出土文字史料 1</li> <li>15. その他の出土文字史料 2</li> </ol> <p>レポート</p>	
<p><b>授業時間外の学習について</b> 授業中に紹介した出土文字史料について、さらに関連した図説・論文を読むこと。また、授業中に紹介する博物館などに行き、出土文字史料の実際を確認すること。</p>	
<p><b>学生へのメッセージ</b> ＜履修上の注意＞</p> <p>＜自主学習＞ 日本で中国出土文字史料を直接みることができる施設（博物館等）は限られているが、それでも可能な限りそのような施設に出かけるようにしてください。</p>	
<p><b>教科書</b> テキストは特に指定しない。必要な資料は適宜配付する。</p>	
<p><b>参考書</b> 中国出土資料学会『地下からの贈り物』（東方書店、2014年）</p>	
<p><b>評価方法</b> 授業参加状況 20 授業中に紹介した史料の解説など、出土文字史料への関心の高さを評価します。 レポート 80 授業で取り扱った出土文字史料について、各自の関心に沿ってさらなる学習の結果をレポートとして提出してもらい、その主体的学習態度を評価する。</p>	
<p>京女 AL アクティブ・ラーニング区分 振り返り・授業時間外学習</p>	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：東洋史特殊講義 11	単位数：2
担当教員名：中砂明徳	
対象学生：史学 3	
副題 16～17 世紀のスペイン人のアジア進出	
授業の到達目標 スペイン人をアジア進出へと駆り立てた原動力、その背後にある世界史的状況について考察する糸口がつかめれば、この授業の目的は達成される。	
授業の概要 16 世紀半ばにスペイン人が太平洋を渡ってフィリピンに植民を始めたことはよく知られているだろう。しかし、アジアにいち早く進出したポルトガル人と違って、スペイン人とアジアの関わりについては、フィリピンとの関係以外については余り知られていないのではないだろうか。 この授業では、スペイン人がフィリピンに進出した背景から説きおこし、16 世紀末から 17 世紀前半にかけて彼らが中国・日本・東南アジアの各地に進出を図った経緯について紹介し、スペイン人の西進の世界史的意義について考える。	
授業計画 1、序説 2、太平洋へのチャレンジ 3、フィリピン進出 4、中国人のマニラ来襲 5、中国への使節派遣 6、フランシスコ会士の中国へのチャレンジ 7、征服か友好か 8、秀吉からのアプローチ 9、フランシスコ会、日本へ 10、サン・フェリペ号事件の余波 11、台湾・東南アジアへの進出 12、江戸幕府との交渉 13、伊達遣欧使節 14、台湾植民 15、まとめ	
授業時間外の学習について 配布したレジュメを参考にしながら授業の内容を反芻し、紹介された参考文献にもできるだけ目を通すこと。	
学生へのメッセージ 積極的に質問してほしいと思います。	
教科書 なし	
参考書 フアン・ヒル著、平山篤子訳『イダルゴとサムライ』法政大学出版社、2001	
評価方法 レポート 80 授業の内容を理解しつつ、独自のテーマが設定できるかどうかを見る。 授業への取り組み 20 授業の内容について自ら問いを立てることができるかどうかを見る。	
京女 AL アクティブ・ラーニング区分 対話型授業	

## 授業紹介「シラバス」

授業科目名：東洋史特殊講義 12	単位数：2
担当教員名：中砂明徳	
対象学生：史学 3	
副題 マカオの一世紀	
授業の到達目標 16 世紀の半ばにポルトガル人が定着したマカオを中心として、以後一世紀間にわたる東アジア世界の歴史を鳥瞰できれば、この授業の目標は達成される。	
授業の概要 16 世紀の後半に結ばれたマカオと長崎航路が東アジアの歴史において約 70 年間にわたって大きな役割を果たしたことは知られているだろう。しかし、マカオから伸びる航路は日本だけではなく、フィリピンのマニラやモルッカ諸島、東南アジアの各港、さらにはゴアにまで伸びていた。そしてこうした放射状の航路では、貿易品や貨幣だけではなく、キリスト教や様々な情報も運ばれた。 この授業では、マカオ開港から一世紀間にわたって、マカオとアジア各地間の航路がいかに形成され、そして閉じられていったのか、その過程を追いかけてながら、錯綜する	
授業計画 1、序説 2、マカオの起源 3、長崎開港 4、イエズス会の拠点 5、マニラとの交通 6、オランダ人の到来 7、中国当局の警戒 8、日本の禁教令 9、東南アジアへの布教 10、オランダ・イギリス連合艦隊の来襲 11、明朝への軍事的寄与 12、日本の鎖国 13、明清交代期を生き抜く 14、マカッサルとの交通 15、まとめ	
授業時間外の学習について 配布したレジュメを参考にしながら授業の内容を反芻し、紹介された参考文献にもできるだけ目を通すこと。	
学生へのメッセージ 積極的に質問してほしいと思います。	
教科書 なし	
参考書 東光博英『マカオの歴史 南蛮の光と影』大修館書店、1998	
評価方法 レポート 80 授業の内容を理解しつつ、独自のテーマが設定できるかどうかを見る。 授業への取り組み 20 授業の内容について自ら問いを立てることができるかどうかを見る。	
京女 AL アクティブ・ラーニング区分 対話型授業	